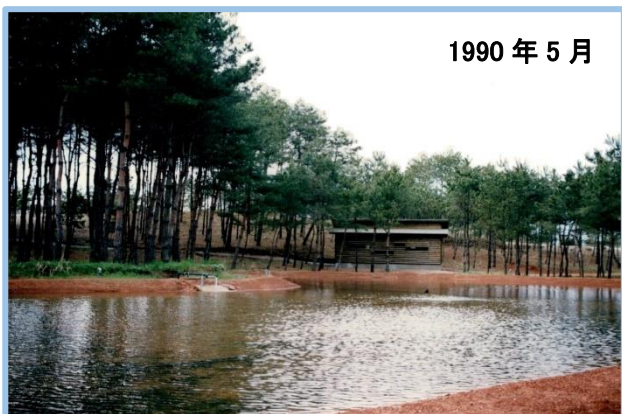




つびまる

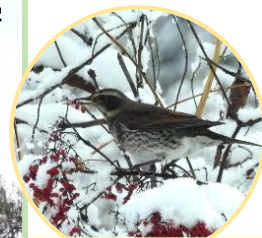
# シジュウカラ 第104号



1990年5月



松くい虫被害



ガマズミの実を食べるツグミ



冠雪害

ヤマウルシの実を食べるシロハラ



ウワミズザクラの実を食べるメジロ



2023年5月

## もくじ

- 1 ページ ・ 愛鳥センター周辺の森林の変化
- 2 ページ ・ 野生動物を巻き込む交通事故に気をつけて！
- 3 ページ ・ イベント案内（7～10月）  
・ イベント報告（1～3月）
- 4 ページ ・ 傷病鳥獣の収容状況（12月～3月）  
・ 愛鳥センター利用案内

ホームページもチェックしてね



愛鳥センターHP  
QRコード



## 表紙の写真

1990年5月に愛鳥センターが開館した当時、愛鳥センター周辺は樹高10mに満たないアカマツ林内にわずかに広葉樹が認められる森林でした。

その後、アカマツ林内に広葉樹の侵入が進むと同時に、松くい虫被害や冠雪害でアカマツが徐々に衰退し、広葉樹が優占する森林に移り変わっています。

愛鳥センター周辺では、現在85種の樹木（植栽樹種を除く）を確認しています。このうち鳥が食べたり、あとで食べるために隠したりして散布される樹木が71種で83.5%を占めています。このように愛鳥センター周辺の森林は、鳥が大きく関わって変化しているのです。



## 野生動物を巻き込む交通事故に気をつけて！

昨年の秋、通勤途中でアナグマの交通事故死体を見つけました。センターラインに重なるように道路の真ん中にタテ向きに横たわっていたので、どのようにぶつかったのか不思議でした。

外見は鼻が折れている様子で出血があるものの、全体的にはとてもきれいな状態でした。こんなにきれいな死体はなかなか落ちていないので、これはぜひ標本に！と思い、ゴム手袋でつかんでビニール袋に入れ、拾ってきました。

袋の中では、宿主が死んだことを察知したダニがワラワラと出てきていました。冷凍庫に入れましたが、半日くらい経ってから覗いてみても、まだダニが動いていました。恐怖です・・・。（ダニやノミなどの寄生虫や感染症の危険もあるので、野生動物は素手で触らないでください）



アナグマが落ちていた現場の様子

アナグマはタヌキに似ていますがタヌキの仲間ではなく、名前にクマと付きますがクマの仲間でもなく、イタチの仲間です。ずんぐりした体に短めの手足、なんともかわいいフォルムです。長いツメを持っていて穴掘りが得意です。



アナグマの前足（裏側）  
ツメが立派！！

標本作製のために解剖すると、外見ではわからなかった損傷がたくさん見つかりました。腹腔の膜や内臓は破裂し、お腹の中は血だらけで、想像以上の損傷の激しさに驚きました。背骨も2か所折れていました。そのうち1か所は完全に分離するほどボキッと折れていて、即死だったのではないかと思います。

道路を歩いていたところに車が来て強くぶつかり、はね飛ばされてセンターラインのところに落ちたと考えられました。最初の疑問が解けました。

哺乳類は夜行性のものが多く、夜に道路に出てくることもあります。動物は車に出会うとヘッドライトの強い光に目がくらんで逃げられず、車の方も夜間はスピードを出していることも多いためにブレーキが間に合わず、お互いに避けられない状況になって事故が起こります。朝に動物の死体を見かけることが多いのはこのためです。

愛鳥センターの周辺でも、タヌキなどの交通事故死体を度々見かけます。この周辺だけで年間何頭も目にしていることを考えると、全国でどれだけの動物が事故で死んでいるのだろうと考えてしまいます。

それらの死体は、道路管理者が片付けてくれたり、カラスやトビなどの自然界のお掃除屋さんが食べてくれていつの間にか片付いています。しかし、道路上の動物の死体を食べに来たカラスやトビが事故に遭う二次被害が起こることもあります。

鳥獣に限らず、カエルやヘビなど様々な生き物が道路で事故に遭っていますので、周辺が自然の多い場所では特に気をつけて、やさしい運転をお願いします。



毛皮の標本

毛皮の標本を作りました。  
今のところ展示はしていません。  
骨の標本も作製中です。





## 7月～10月イベント案内

申込み受付は7月1日より開始

住所・氏名・電話番号・年齢を明記して、電話、はがき、FAX、E-mailでお申し込みください。参加費は無料です。内容が変更または中止になる場合がありますので、HP等で最新の情報を確認してください。

### 夏休みイベント

#### ○工作教室（消しゴムはんこ）

日時：7月30日（日）13:30～15:00

場所：愛鳥センターレクチャールーム

定員：20名 対象：小学校高学年以上

持ち物：彫刻刀、デザインカッター（あれば）

鳥の消しゴムはんこを作ります

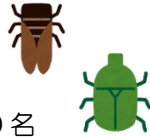


#### ○昆虫観察会

日時：8月5日（土）9:00～11:00

場所：愛鳥センター周辺 定員：20名

水分、帽子、タオルなど熱中症対策をお願いします。



#### ○巣箱作り教室

日時：①8月19日（土）②8月20日（日）

各回とも 13:30～16:00

場所：愛鳥センターレクチャールーム

定員：8組

対象：小学生以上（小学生は保護者同伴）

スズメやシジュウカラ用の巣箱を作ります。



### 探鳥会・観察会

#### ○シギ・チドリ観察会

日時：9月3日（日）7:00～9:00

場所：網代浜（聖籠町） 定員：20名

集合：聖籠町海のにぎわい館

海岸を歩きます。暑さ対策をお願いします。



シロチドリ

#### ○愛鳥センターバードウォッチング②

日時：9月30日（土）9:00～10:30

場所：愛鳥センター周辺 定員：20名

#### ○清潟探鳥会

日時：10月22日（日）9:00～11:00

場所：清潟公園（新発田市） 定員：20名

集合：清潟公園駐車場

秋の渡りの途中の鳥を観察します。



ノスリ

#### ○めざせ！鳥類調査員 鳥の鳴き声勉強会（秋）

日時：10月28日（土）9:00～11:00

場所：愛鳥センター周辺 定員：10名

対象：小学校高学年以上で鳥の野外調査に興味がある方



### 特別展

#### ★野鳥写真展

#### ★令和5年度用愛鳥週間用ポスター原画募集新潟県大会入賞作品展

7月9日（日）まで同時開催

#### ★夏季特別展 「続 傷病鳥獣が教えてくれること ～解剖ノートから～」

7月15日（土）～9月18日（月・祝）

#### ★令和6年度愛鳥週間用ポスター原画募集新潟県大会入賞作品展

9月22日（金）～10月22日（日）

特別展は2階で  
開催しています



## 1月～3月イベント報告

### ◆足跡ウォッチング

日時：令和5年1月22日（土）9:00～11:00

場所：愛鳥センター周辺 参加者：6名

天気：くもり時々雪

観察したフィールドサイン：イタチの足跡、ノウサギの足跡、タヌキ？の足跡、ハシブトガラスの足跡、スズメ？の足跡、サギ（ダイサギかアオサギ）の足跡とフン

その他ハラビロカマキリの卵、カメノコテントウ、植物の実や冬芽なども観察しました。

サギの足跡



2月12日に予定していた新潟県野鳥保護の集い（瓢湖）、3月5日に予定していたお幕場大池探鳥会は、鳥インフルエンザの防疫対策のため中止しました。



## 令和4年12月～令和5年3月の傷病鳥獣收容結果

收容NO.	種類	11月末收容数	收容数	放鳥数	譲渡返還	死亡	3月末收容数	收容NO.	種類	11月末收容数	收容数	放鳥数	譲渡返還	死亡	3月末收容数
(鳥類)									クマタカ	1					1
1	コハクチョウ	7	5	2		4	6		フクロウ	2					2
	オオハクチョウ	1					1		チョウゲンボウ	5				1	4
2	アラナミキンクロ		1			1	0		ハヤブサ	1					1
3	キジバト		2			2	0	8	オナガ		1			1	0
	アオバト	4					4		ハシボソガラス	4				1	3
4	オオミズナギドリ		5	2		3	0	9	メジロ		1			1	0
5	カワウ		1			1	0	10	ドバト		2	1		1	0
6	アオサギ		1			1	0		小計	44	20	6	0	19	39
	ムナグロ	1					1		(獣類)						
	ウミネコ	2					2		ハクビシン	1					1
	トビ	11				1	10		小計	1	0	0	0	0	1
	サシバ	2					2		合計	45	20	6	0	19	40
7	ノスリ	3	1	1		1	2								

令和4年12月1日～令和5年3月31日までの收容数は、鳥類10種20羽、獣類0種0頭で、昨年度の同時期（鳥類57羽、獣類1頭）と比べ鳥、獣類とも減少した。

※令和5年2月10日～3月31日は鳥インフルエンザの防疫対策のため收容不可



### 〈特記事項〉アラナミキンクロ メス 幼鳥

令和4年12月25日、新潟市中央区翁町地内の道路上で保護され、27日にセンターへ收容された。骨折、外傷は確認できなかったが衰弱が著しく餌も受け付けない状態で、翌日死亡した。

收容時体重：494g 全長：425+mm（尾羽大部分欠損のため） 翼開長：740mm

自然翼長：213mm 跗蹠長：40mm

この個体は、センター初記録、新潟県初記録。



### 利用者数

※令和5年2月10日～3月31日は鳥インフルエンザの防疫対策のため臨時休館

月	12月	1月	2月	3月	計	累計
来館者数	79	88	26	0	193	645,709
相談件数	39	31	32	22	124	—

### 館内設置のトキ募金箱の報告

令和5年1月～令和5年3月 300円 累計 317,922円

皆様の善意に深く感謝いたします。今後とも御協力をお願いします。



### 新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里

開館時間：午前9時～午後4時

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）

〒957-0231 新発田市藤塚浜海老池

Tel：0254-41-4500 Fax：0254-41-4501

HP：<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/aicho/>

E-mail：ngt031210@pref.niigata.lg.jp





つびまる

新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里

# イベント情報

 令和5年  
7月～10月

※イベントの参加には事前申込みが必要です。 **申込み受付開始 7月1日～**  
都合により日程、内容が変更になる場合があります。最新の情報はホームページでご確認ください。



## 工作イベント



### ★工作教室 消しゴムはんこ作り

日時：7月30日（日）13:30～15:00  
場所：愛鳥センターレクチャールーム  
定員：20名 対象：小学校高学年以上  
持ち物：彫刻刀、デザインカッター（あれば）  
消しゴムを彫って鳥のはんこを作ります。

### ★巣箱作り教室

日時：第1回 8月19日（土）  
第2回 8月20日（日）  
各回とも 13:30～16:00  
場所：愛鳥センターレクチャールーム  
定員：8組 対象：小学生以上（小学生は保護者同伴）  
スズメやシジュウカラ用の巣箱を作ります。1組2つまで  
作れます。作った巣箱はお持ち帰りいただけます。



## 講座

### ◇めざせ！鳥類調査員 鳥の鳴き声勉強会(秋)

日時：10月28日（土）9:00～11:00  
場所：愛鳥センター 定員：10名  
対象：小学校高学年以上で鳥の野外調査に興味がある方。  
一般的な鳥の名前を聞いて姿が思い浮かべられる  
程度の方を対象とした内容です。座学の後、野外に  
出て実際に鳴き声を聞きながら解説します。  
持ち物：双眼鏡、筆記用具、バイナダー（あれば）



## 探鳥会・観察会



### ○昆虫観察会

日時：8月5日（土）9:00～11:00  
場所：愛鳥センター 定員：20名  
持ち物：飲み物、帽子、タオルなど  
熱中症対策をお願いします



### ○シギ・チドリ観察会

日時：9月3日（日）7:00～9:00  
場所：網代浜海岸（聖籠町）  
集合：海のにぎわい館駐車場（海側） 定員：20名  
持ち物：飲み物、帽子、タオルなど  
熱中症対策をお願いします



ミユビシギ

※集合時間に使用できるトイレが近くにありませんので  
ご注意ください。

### ○愛鳥センターバードウォッチング②

日時：9月30日（土）9:00～10:30  
場所：愛鳥センター 定員：20名  
愛鳥センター周辺を散策して野鳥を観察します。



コサメビタキ

### ○清潟探鳥会

日時：10月22日（日）9:00～11:00  
場所：清潟公園（新発田市）  
集合：清潟公園駐車場 定員：20名  
渡ってきたばかりのカモ類や小鳥などを観察します。



**お申し込み方法**：住所・氏名・電話番号・年齢  
を明記して、電話、はがき、Fax、E-mailで愛鳥  
センターまでお申し込みください。

観察会は散策に適した服装・靴をご用意ください。小雨決行のため雨具をご用意ください。双眼鏡をお持ちでない方には貸し出しがあります。現地集合・解散となりますので裏面の地図をご確認ください。

## 新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里

〒957-0231 新発田市藤塚浜海老池 Tel 0254-41-4500 Fax 0254-41-4501  
E-mail : ngt031210@pref.niigata.lg.jp HP : <https://www.pref.niigata.lg.jp/site/aicho/>  
毎週月曜日が休館日です。月曜日が祝祭日の場合は翌日が休館となります。





シロチドリ

# 探鳥会集合場所案内



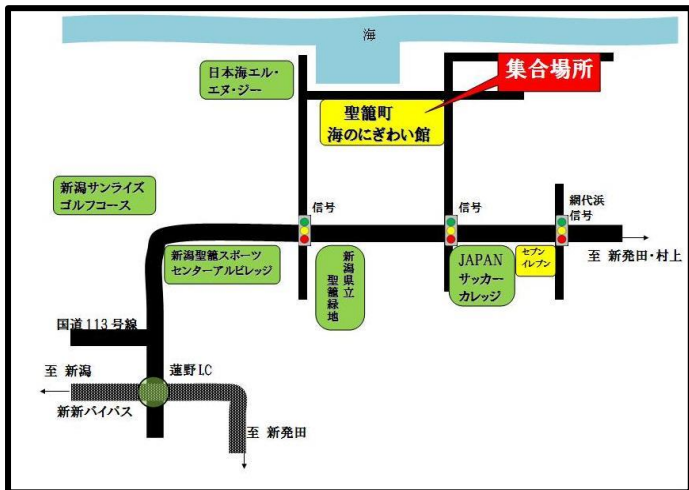
コガモ

## シギ・チドリ観察会集合場所

聖籠町海のにぎわい館駐車場（海側）

## 清潟探鳥会集合場所

新発田市清潟公園駐車場



## 愛鳥センター案内図



工作教室、巣箱作り教室、昆虫観察会、愛鳥センターバードウォッチング、鳴き声勉強会は愛鳥センター集合です。



### 特別展

愛鳥センター2階にて開催。開館時間中自由に見学できます！

◎野鳥写真展

◎令和5年度愛鳥週間用ポスター新潟県大会入賞作品展

7月9日（日）まで  
同時開催

◎夏季特別展「続 傷病鳥獣が教えてくれること ～解剖ノートから～」

期間：7月15日（土）～9月18日（月・祝）

◎令和6年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール新潟県大会入賞作品展

期間：9月22日（金）～10月22日（日）